

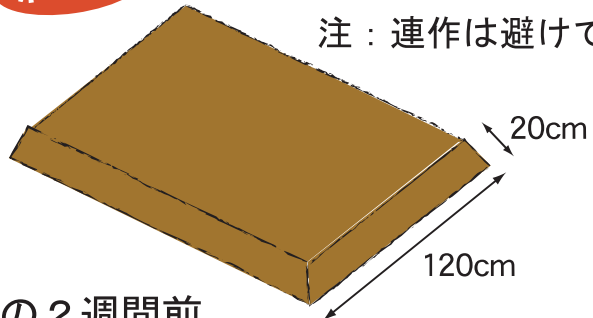
# キュウリの上手な作り方



## 1 土作り

ポイント 《土作りはあらかじめ》

注：連作は避けて下さい。



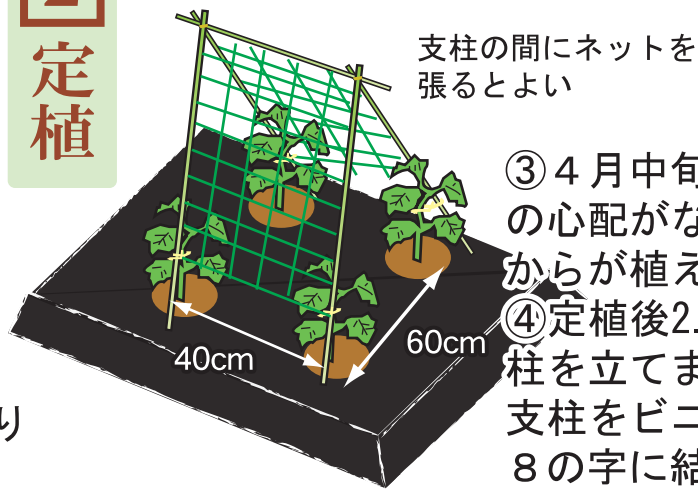
- ①定植の2週間前石灰をまいてよく耕します。(1㎡あたり150g)
- ②定植の1週間前堆肥とカルシウム入り肥料を混ぜて耕し畝を作ります。(堆肥4リットル・肥料150g)

### プランター・コンテナ栽培の場合・・・

狭い空間で栽培するため、少しでも肥料バランスが偏ると、生育に支障が出ます。しっかり殺菌などがなされた肥料バランスのよい市販の野菜用培養土を使うのがおすすめです。

## 2 定植

ポイント 《マルチを張って地温上昇》



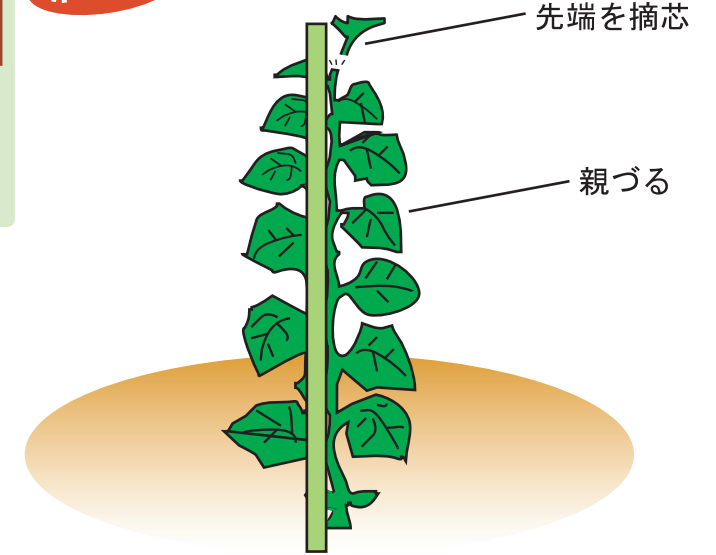
支柱の間にネットを張るとよい

- ③4月中旬以降、霜の心配がなくなつてからが植え時です。
- ④定植後2.1mの支柱を立てます。茎と支柱をビニール紐で8の字に結びます。

また、根がしっかり張れることで、地上部の生育がよくなります。可能な限り大型のプランターを使い、小さなプランターを使う場合は植える苗の数を少なくしましょう。  
※20L以上のプランターに1株が目安です。

## 3 整枝

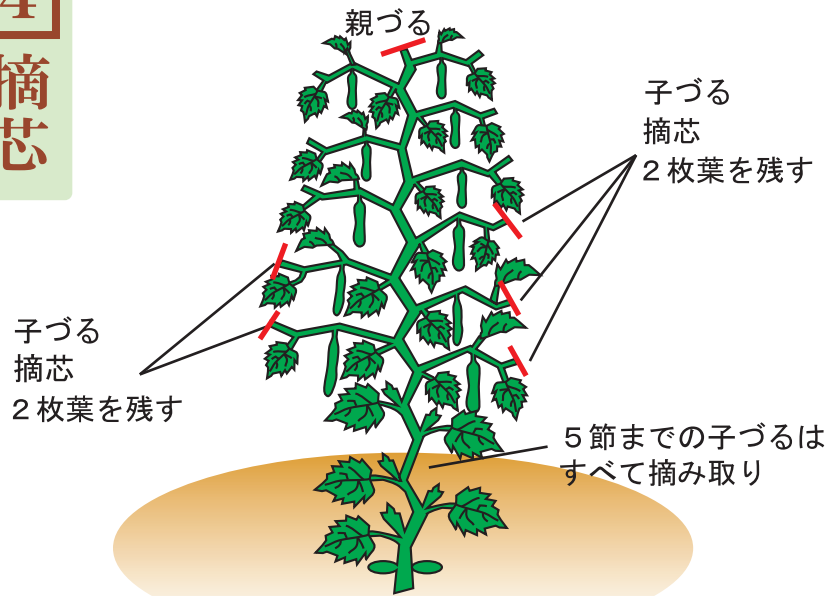
ポイント 《1本仕立てに整枝》



- ⑤摘芯します。親づるが支柱の先端まで届いたら、先端の芽を摘み取ります。

## 4 摘芯

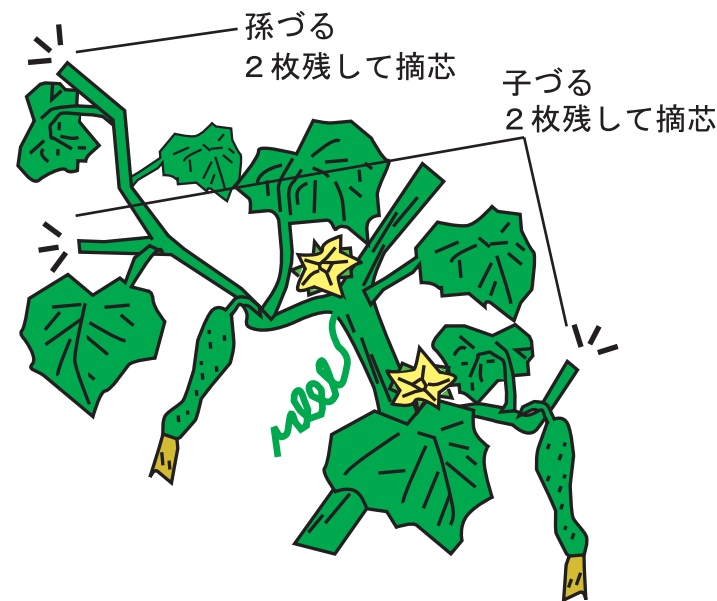
ポイント 《早めに摘芯》



- ⑥5節までの子づるは小さいうちに摘み取ります。5節より上に出た子づるは葉を2枚残して摘み取ります。

## 5 摘芯・追肥

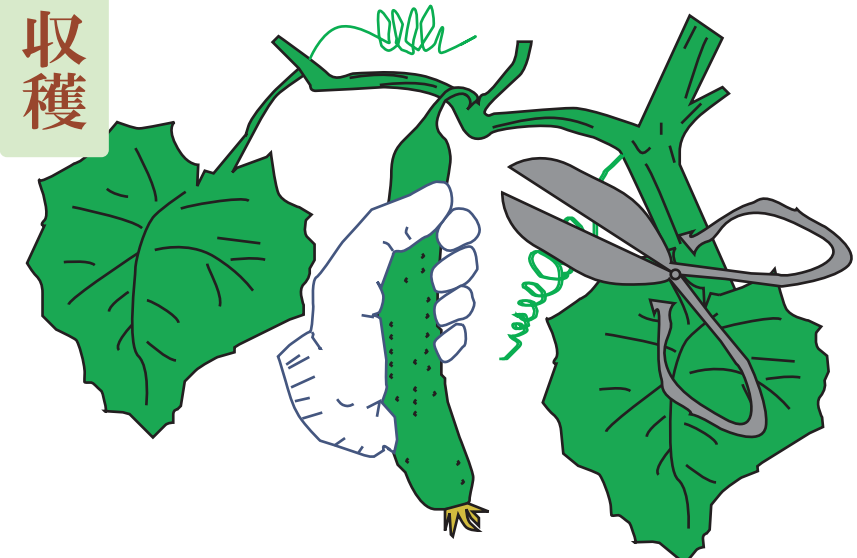
ポイント 《追肥を忘れずに》



- ⑦子づるから出る孫づるも2枚残して摘み取ります。
- ⑧収穫が始まったら化成肥料を月に2回施します。

## 6 収穫

ポイント 《実が20cmくらいになったら収穫》



- ⑨開花後、7日程度で収穫です。最初の2～3果は早取り。それ以降は、長さ20cmくらいになったら収穫です。